

# SDGsに関する対外発信状況等



宇宙航空研究開発機構 調査国際部  
於：STI for SDGs意見交換会  
2018年7月26日

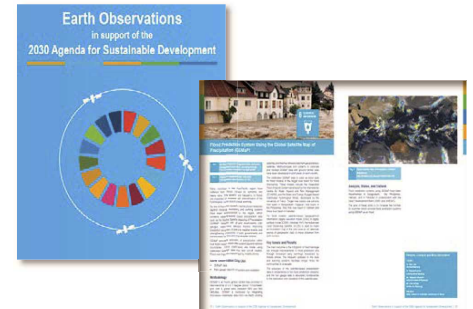
## JAXAにおけるSDGs関連の対外発信の状況

- 国連STI Forum
  - 2017年6月NY: SDGsの達成に向けた産学官NGO等の取組事例集 (JST作成、配布)
    - ・衛星データの農業活用 (JICA/JAXA)、「衛星全球降水マップGSMaP (JAXA)」による洪水予報警報システム、森林非森林マップを利用した「熱帯林早期警戒システム (JJ-FAST) (JICA/JAXA)」 3件掲載
  - 2018年6月NY: 日本レセプション (JST主催)にてパネル展示 (JJ-FAST)
- IAC (国際宇宙会議)
  - 2017年10月、アデレード: Global Networking Event, “Space and SDGs” (JAXA、NASA、ESA、UNOOSA、Australia Geoscience、GPSDD)
  - 2018年10月、ブレーメン: Special Session, “Space for Sustainable Development” (企画中)
- APRSAF (アジア太平洋地域宇宙機関会議)
  - 2017年11月、バンガロール
    - SDGsをテーマとした宇宙機関長プレナリーセッション (JAXA含むアジア太平洋諸国9か国)
  - 2018年6月、国連宇宙空間平和利用委員会 (COPUOS) サイドイベント
    - APRAF-ESPI (欧州宇宙政策研究所) 共催、アジア太平洋・欧州地域間宇宙政策対話
    - パネル「社会経済成長のための宇宙技術に関する多様なアプローチ」(アジア、欧州計6か国)
  - 2018年11月、シンガポール
    - 宇宙機関長プレナリーセッション、イノベーティブな技術による社会課題解決 (企画中)
- 国連宇宙空間平和利用委員会 (COPUOS)
  - 2018年6月、第1回国連宇宙会議 開催50周年記念会合 (UNISPACE+50)
    - 宇宙のSDGsに対する貢献を含む“Space 2030”を議論。宇宙機関長パネルにて山川理事長からSDGsへの貢献を発言。
    - Kibo Cube サイドイベント: 国連との共催で実施する途上国の小型衛星の放出プロジェクトに関するイベント
- JAXA's (広報誌)
  - 2017年1月: 「地球規模の課題解決を目指し、JAXAとJICAが手を携える～SDGsの達成を目指して」
  - 2017年4月: コラム: SDGsと宇宙
  - 2018年1月: 「SDGs達成に向けてJAXAが果たす役割とは」

# 国際枠組参画状況

## ➤ 地理空間情報作業部会 (WGGI)

- 国連統計委員会SDG指標に関する機関間専門家グループ (IAEG-SDGs) の下に設置された「地理空間情報作業部会 (WGGI)」に専門家として参加し、インディケーター (指標) への地球観測データ適用について議論中。



GEO報告書「持続可能な開発目標を支援する地球観測」



## ➤ 地球観測に関する政府間会合 (GEO)

- 持続可能な開発目標を支援する地球観測 (EO4SDG) イニシアティブ
  - JAXAはNASA、メキシコ国立統計地理情報院とともに共同リードを務めている。
  - 本イニシアティブの実施計画に基づき、国別プロジェクト、能力開発、データ情報プロダクト及びアウトリーチを各国で実施中。
  - 国連統計委員会 (2017年3月、NY) においてサイドイベントを開催し各国統計官との議論を実施した。
  - JAXAは「持続可能な開発目標を支援する地球観測」を作成し、国連統計委員会やSDGs、地球観測関連イベントにおいて配布している。

### 今後の予定

- 第15回GEO本会合及び関連イベント (2018年10月29日-11月1日、京都)
  - 以下の機会を活用し、地球観測データを用いたSDGs実施について議論を深める。
  - SDGs実施に関するパネルディスカッション
  - サイドイベント - 展示